

お茶つながりがおもしろい Vol.9 活動報告

1. 開催日時

2018年8月25日 14時開演

2. 会場

日本経済新聞社 3F 日経ホール（来場者数333人）



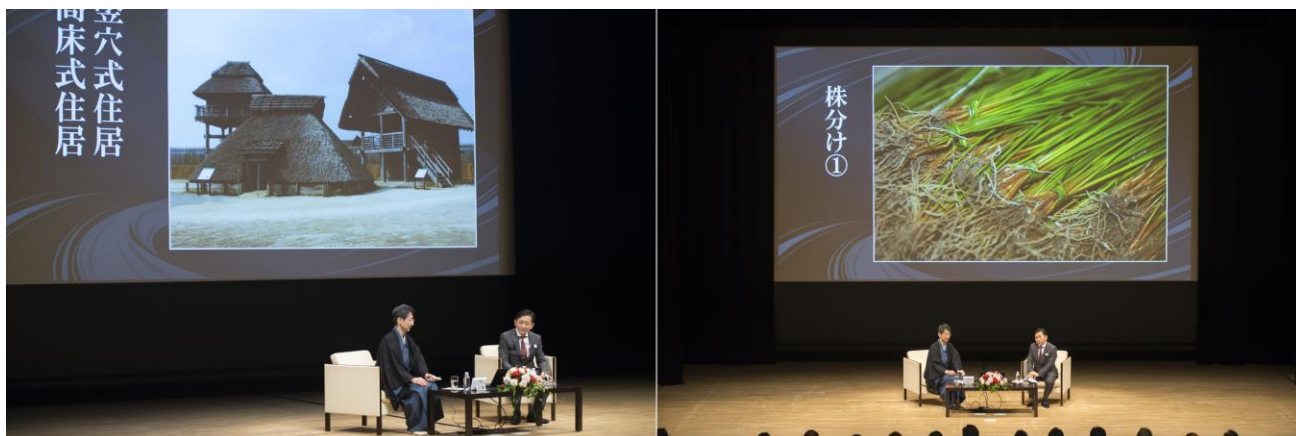
3. 主催

大日本茶道学会 公益財団法人三徳庵

同じチーム J-culture2020 構成団体の大日本茶道学会様より、毎年行っているトークショーで茶人が絶えず接する「畳」について取り上げたい旨依頼がありました。



畳でおもてなしプロジェクト実行委員会では自らも茶道を学んでいる石河恒夫委員にお願いし、大日本茶道学会会長の田中仙堂氏と1時間 30分にわたるトークを繰り広げました。



畳が敷きつめられるようになった歴史、畳表のできる様子、畳の機能、茶室における畳の在り方、良い畳とは？など、130枚の写真を使って会場に足を運んで頂いた多くの茶人の皆様に畳という素材に意識を向けて頂けるきっかけを提供できたのではないかと思います。



3. 入り口ロビーでの展示・PR

良い茶室畳の製作には欠かせない3つの畳表が品良くディスプレイされました。



正座に優しいクッション性のある 15 ミリ厚の64目畳表の置畳には実際に座って頂きました。



田中会長をはじめ実際に座られた方々からは「非常に良い」との好評を頂き、手軽に敷いて茶道のお稽古ができる利点を体験頂きました。伝統ある茶道業界の中に新しい素材の畳の可能性を発信できた事は、大変有意義なイベント参加であったと思えます。

